

『馬を応援してくれる 人達がいる』

コスモビューファーム 横橋 みなみ
第27期生（平成22年4月修了）

BTCでの研修を修了し、牧場で働き始めてから4年半が経ちました。私は競馬が好きで、競走馬に乗ってみたいという興味本位で、全くの未経験から馬の世界に飛び込みました。最初は好きな馬と共にいられる環境や少しずつでも自分の技術が向上していくこと、扱っている馬が良くなっていくことで満足を得て、楽しい日々を過ごしていました。しかし、最近では自分が関わった馬達を応援してくれる人達がいる、ということにやりがいを感じています。

勤務しているコスモビューファームでは自己所有馬の他に、1頭の馬に共有で出資する会員制クラブであるウインレーシングクラブの所属馬の育成・調教もしています。クラブの会員さんとの交流の中で、出資馬の話題で楽しそうに盛り上がる姿、その馬の活躍や近況で一喜一憂している様子を見ると、かつてテレビ中継から競馬に夢中になっていた自分を思い出し、改めて競馬とは社会の中の娯楽であり、競走馬は誰かにとってはスターに近い存在になり得るのだな、ということを実感しました。

これはクラブの馬とその会員さんにだけ言えることではないと思っています。競馬が開催されれば関係者はもちろんのこと、競馬場に観に来る人、場外馬券場で馬券を買う人、ネットや中継で結果を確認する人、誰かしらがどれかしの馬に期待・応援して、喜んだり悲しんだりしています。そうやって今、自分が関わっている馬達が誰かに喜びや感動、ドキドキを届けるという可能性を考えると、とてもワクワクしますし、今の私のモチベーションとなっています。

コスモビューファームは生産・育成・調教と一貫して行う

総合牧場であり、私も育成・現役馬の騎乗だけではなく繁殖も担当しています。お産の時の緊張感や人を全く知らない状態の当歳を扱う難しさは、馬乗りで感じる難しさとはまた違ったものがありますが、将来のスター候補生に生まれた瞬間から関われることは楽しみの1つです。また、牧場の仕事には草刈や補修作業を始めとする、馬に触らない環境整備の仕事もたくさんあります。もちろん、それぞれの作業に面白さや難しさもありますが、出走するレースが近くなくても、馬に直接触れる仕事でなくても、すべての作業は今関わっているすべての馬達が無事にレースに出走し、良い結果を目指すために繋がっています。

牧場で働く私達の仕事とは、関係者から一般のファンまで様々な人達の期待を背負う馬達がしっかりと力を発揮出来るように、万全の状態で次の場所に送り出すことだと考えています。

まだまだ未熟な私ですので、まずは身近な人達の想いや繋がりを大切にしながら、もっともっと技術や知識を向上させて進んで行きたいと思います。

【牧場紹介】

（有）コスモビューファームは、太平洋を眼下に望む新冠町西泊津の高台に本場があり、生産・育成・調教を行う総合牧場です。生産馬達は自然を生かした美しい広大な放牧地でのびのびと育てられ、坂路調教コース（800m）を含め充実した施設で、「丈夫な馬づくり」を基本に競走馬に向けしっかりと鍛え上げられています。



『育む』

世田谷乗馬倶楽部 蓮見 みなみ

第21期生 (平成16年4月未修了)

東京都世田谷区、閑静な住宅地の一角に、世田谷乗馬倶楽部の小さな馬場があります。ポニー2頭で、3歳~12歳の子どもたちを対象に、乗馬レッスンをを行っています。

10名ほどの子どもたちで行う、90分のレッスンの内容は、馬を交えたレクリエーションがメインとなっています。まず、挨拶と自己紹介、準備体操から始まります。そして、馬の手入れ、馬装、馬場の整備、騎乗の順番決めを終えることで、ようやく馬に乗ることができるようになります。皆、乗馬を楽しみにやってくるので、積極的に力を合わせてくれます。その中では、年長の子どもたちが、小さな子どもたちを手助けするというコミュニケーションが自然に発生します。自主性や協調性も学んでくれているようです。

騎乗は、軽乗鞍を使ってバランスを養うようにしています。なぜなら、今後、より大きな他の乗馬クラブでレッスンを行うことになっても、基礎となるバランス能力があれば、柔軟に対応できるようになるためです。技術の習得は後回し、まずは、馬が大好きになってもらえればと考えています。

安全のために、様々な準備を入念に行っています。子どもの世話係と、騎乗のサポートをするスタッフを確保しています。また、馬のメンタルケアにはかなり力を入れています。馬のストレスの度合いで、広い運動場に輸送、放牧し、リ

フレッシュさせています。子どもたちを乗せても安心できる、おとなしい性格の馬に育っています。

それらの人件費と維持費は、運営会社の理解があるからこそ成り立っています。もちろん、結果を残し続けることが重要です。幼稚園、中学校の職場体験、児童養護施設でのパフォーマンス、被災地支援活動、地域振興イベントや警察署のパレードへの参加、メディアの取材に応じるといった広報活動も同時に行っています。

この春から新しいシステムを作って、新人のスタッフたちに取り組んでもらっています。人を育てるという経験の中で、ふと思ったのは、自分も未熟だった頃に、BTCの方々はずい分ご迷惑をかけてしまったことでした。骨折といった諸事情が重なって卒業できなかったことを無念に思いましたが、今では自分の居場所を見つけることができ、かつての苦い経験が、ようやく自分の糧になったと思っています。お世話になった方々に、この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

自分もまた、無限の未来を持った若い世代を育成することで、若い世代に、新たな世界を作っていってもらえたらと願っています。



青森の湖にて、2泊3日乗馬ダイブツアー



子どもたちのレッスン



レッスンの最後は馬にありがとうを



公益財団法人ハーモニセンターとコラボツアー